

2025年10月2日作成  
第1.0版

## 当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ 臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

Intermediate stage 肝細胞癌に対する化学塞栓療法における  
7-11 基準の妥当性と予後分類の検討

### 1. 対象となる患者さん

2007年2月～2018年1月の間に当院で肝細胞癌の治療を受けられた患者さん

### 2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR学講座 松本 武士

### 3. 研究の目的と意義

この研究は、カルテ情報を解析し、腫瘍量に応じた肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）の治療成績を明らかにし、TACE の適応となりうる患者さんの更なる分類を目的としています。昨今、TACE などの局所療法と全身化学療法の併用治療が世界的に注目を集めています。この研究の成果は、TACE の適応となりうる中間期肝細胞癌の患者さんを識別するのみならず、局所療法と全身化学療法の併用治療で恩恵を受けられる患者さんを選択する際の基準に繋がることが期待されます。

### 4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、腫瘍量に応じた肝細胞癌の治療成績を算出します。

### 5. 使用する情報

診療情報：年齢、性別、既往歴、病期・肝予備能、腫瘍サイズ・個数、病因、腫瘍マーカー、抗腫瘍効果、CR率、Child Pugh score、ALBI grade、無増悪生存期間（PFS）、後

治療内容、全生存期間（OS）、有害事象。

**6. 情報の管理責任者**

奈良県立医科大学 学長

**7. 研究の実施体制**

**研究代表者**

奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR 学講座 松本 武士

**8. 外部機関への情報等の提供**

本研究において、他の機関との試料・情報の授受は行わない。

**9. 研究期間**

研究機関長の実施許可日～2027年10月31日

**10. 個人情報の取り扱い**

研究開始時に、氏名、住所等の個人の特定が可能なデータを研究用 ID に置き換え、対応表を作成する。対応表は、パスワードをかけて放射線診断・IVR 学講座の研究室内のインターネットとつながっていないコンピューター上に保存する。パスワードを知る者は研究責任者のみとする。

**11. お問合せ先**

奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR 学講座 松本 武士

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051